

麻酔科 研修プログラム【必修】

I. 対象

初期臨床研修1年目

内科での一般的な研修の後に、麻酔管理を経験する。緊急・集中治療の場で必要な手技を習得し、呼吸・循環管理を行えるようにする。

II. 一般目標

1. 合併症を持つ患者の病態を把握し、それに対する麻酔管理ができる。
2. 緊急・集中治療の場で必要な処置が実施できる。
3. 術後管理を含めた、周術期の全身管理ができる。

III. 到達目標

1. 麻酔薬の特性を理解し、鎮静および全身麻酔ができる。
2. 腰椎穿刺・脊髄くも膜下麻酔（脊椎麻酔）ができる。
3. 気管挿管できる。
4. Aライン（観血的動脈圧測定ライン）が確保できる。
5. CVライン（中心静脈ライン）、末梢静脈ラインが確保できる。
6. 呼吸モニターの波形や数値により病態を把握し、人工呼吸器を設定できる。
7. 侵襲的循環モニターや心エコーを用いて、循環動態を把握できる。
8. 心血管作動薬のそれぞれの特性を理解し、病態に応じて使用できる。
9. 救急総合診療科と連携し、疼痛管理を含めた術後の全身管理ができる。

V. 経験すべき基本的手技(経験優先順位順)・目標経験数（1ヶ月間）

気管挿管 30 例

静脈路確保 30 例

胃管挿入 30 例

Aライン（観血的動脈圧測定ライン）挿入 10 例

CVライン（中心静脈ライン）挿入 5 例